



報道発表資料

2003年9月30日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、XML サーバー製品を「ASTERIA 3」に統合

～ 既存ユーザーには最大 66%オフの優待キャンペーンを実施 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎）は、同社の XML サーバー製品「iConnector」「iMessenger」「XML Server for Domino」を、2004年4月1日よりビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA 3（アステリアスリー）」に統合することを発表しました。

これら 3 製品は、「iConnector」が Oracle / SQL Server / DB2 / Access / Notes データベースと XML の相互変換、「iMessenger」が XML メッセージの SMTP / POP3 / IMAP4 プロトコルを介した送受信、「XML Server for Domino」が Domino サーバーのデータを XML 化して公開するという機能を持っていましたが、これらの機能はすべてインフォテリアの主力製品である「ASTERIA 3」に取り入れられています。「ASTERIA 3」では加えて XML 以外の様々なデータ形式のサポート、ノン・プログラミングの GUI 環境を提供し、既存ユーザー各社の業務要件の高度化ニーズに応えます。

すでに 3 製品を導入済みのお客様には、2003 年 10 月 1 日に出荷を開始する最新バージョンの「ASTERIA 3」を特別価格で購入できる優待キャンペーンを実施します。この優待キャンペーンは、2003 年 10 月 1 日より 2004 年 3 月 31 日までの 6 ヶ月間実施し、定価より 50%～66%オフの割引価格となる 160 万円（CPU あたり）で「ASTERIA 3」を購入することが可能です。

キャンペーンの詳細はこちら：<http://www.infoteria.com/jp/product/index.jsp#campaign>

インフォテリアでは、「ASTERIA」への製品統合により、システム連携のニーズの高度化に焦点をあてた事業展開に注力してまいります。

ASTERIA 3 について

ASTERIA 3 は、国内で 50 社以上の導入実績を持つビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA」の最新版です。プログラミング不要の優れた設計環境により、社内外のビジネス・ネットワークを柔軟につなぎ、BtoB や EAI などさまざまなレベルのデータ連携を可能にします。ASTERIA 3 では、BPM(ビジネス・プロセス・マネジメント)を

支援するシナリオ機能をはじめとする新機能が提供され、データ変換・集配信からより高度なビジネス・ロジック開発まで、幅広いユーザーニーズに対応します。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、XMLを中心とした先進の技術を、リアルワールドで適用できるソフトウェアおよびソリューションとして提供する会社です。インターネット基盤データ技術「XML」を活用するためのコンポーネント製品や、企業内外のさまざまなデータ変換・システム連携を容易に実現するビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA (アステリア)」を提供しています。 <http://www.infoteria.com/>

#

<お問い合わせ先>

インフォテリア株式会社

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/jp>

(ウェブサイト)

大橋 みどり

(広報担当)